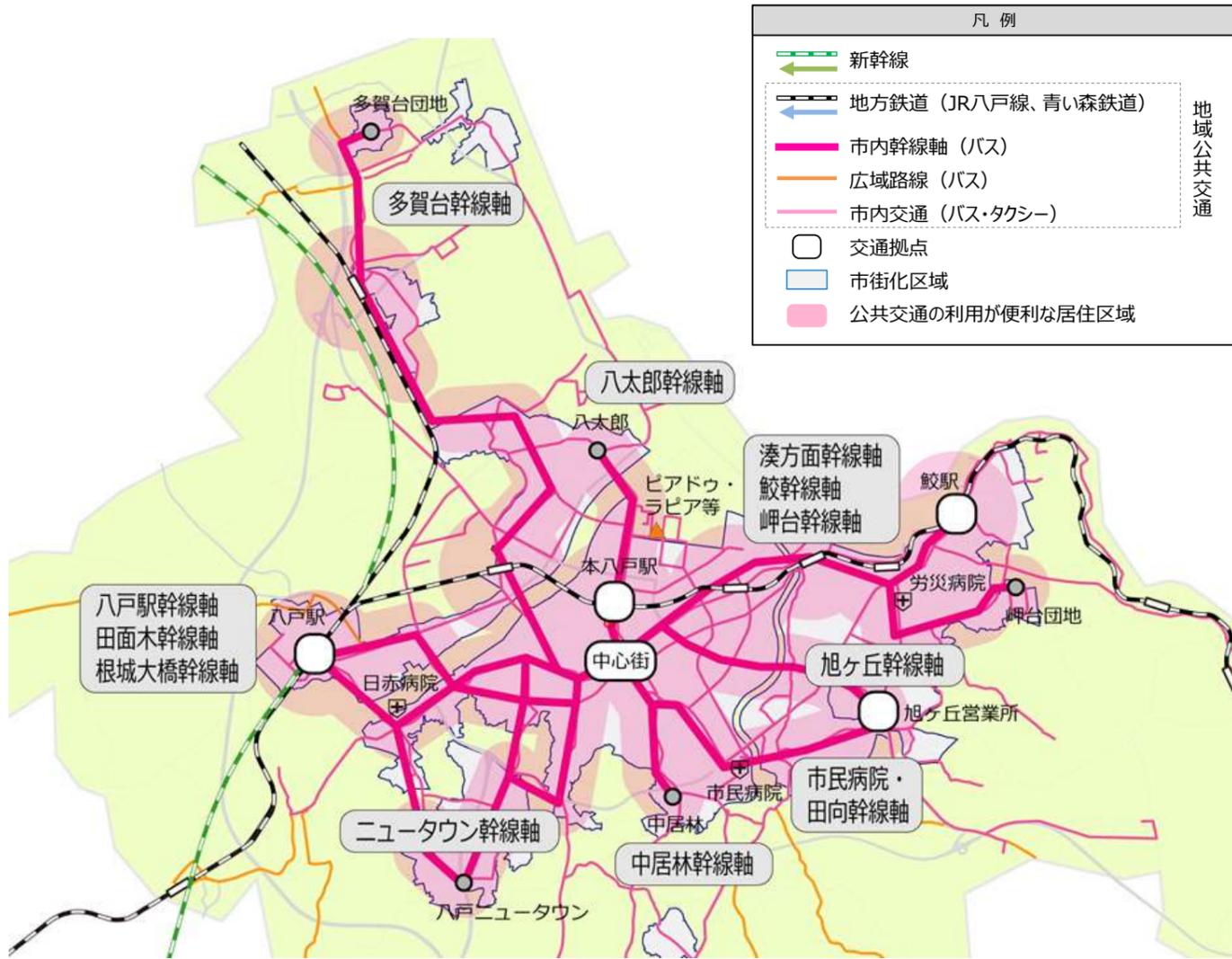


# 八戸市が目指す地域公共交通ネットワークの将来像



▲八戸市地域公共交通ネットワークの将来像（市内幹線軸）



▲八戸市地域公共交通ネットワークの将来像（広域）

拠点	拠点の特性
八戸駅	八戸市の玄関口
本八戸駅	八戸中心街への玄関口
八戸中心街ターミナル	市内各方面及び周辺市町村への路線バス発着点
鮫駅	種差海岸・みちのく潮風トレイルの玄関口
旭ヶ丘営業所	市営バスの発着点

	幹線軸の名称	区間
幹線	①八戸駅幹線軸	中心街～八戸駅前 ※②と③の各幹線軸の合流で形成
	②田面木幹線軸	中心街～田面木
	③根城大橋幹線軸	中心街～八戸駅前
	④湊方面幹線軸	中心街～労災病院通 ※⑤と⑥の各幹線軸の合流で形成
	⑤鮫幹線軸	中心街～鮫小学校通
	⑥岬台幹線軸	中心街～岬台団地
	⑦中居林幹線軸	中心街～中居林
	⑧八太郎幹線軸	中心街～八太郎
	⑨市民病院・田向幹線軸	中心街～旭ヶ丘営業所 (市民病院まわり)
	⑩旭ヶ丘幹線軸	中心街～旭ヶ丘営業所 (国道まわり)
準幹線	⑪ニュータウン幹線軸	中心街～八戸ニュータウン
	⑫多賀台幹線軸	中心街～多賀台団地

# 八戸市地域公共交通網形成計画の概要

平成 28 年 3 月策定

- 計画の区域：青森県八戸市全域
- 計画の期間：平成28年度から平成34年度までの7年間

## 計画の構成

### 基本理念 ～八戸市地域公共交通網形成計画が目指すもの～

- ①複数の交通モードの連携により、市内全体として「意外と使える」「迷わず乗れる」と感じられるサービスを、将来にわたり継続的に提供し、住みよく、活力あるまちづくりに寄与します。
- ②まちづくり施策との連携や多様な主体と協働して地域公共交通を見つめなおし、育て、次世代に引き継ぎます。

### 基本方針・基本目標

**(基本方針 1)**  
○「市内幹線軸」を基軸とした持続可能な公共交通網の形成と乗継拠点の機能強化

基本目標① 「生活」と「交流」を支える移動手段として、持続可能かつ市民や来訪者に「選ばれる」地域公共交通網の形成

**(基本方針 2)**  
○多様な主体との協働・連携に基づく「おでかけしやすくなる」交通まちづくりの推進

基本目標② 八戸市の地域公共交通を育てる「応援団」の拡大

**(基本方針 3)**  
○市民や公共交通利用者が「欲しい情報」を入手しやすく「迷わず乗れる」環境づくり

基本目標③ 八戸市内における公共交通関連プロジェクトの認知度向上

**(基本方針 4)**  
○「快適に乗れる」地域公共交通の利用環境整備

基本目標④ 「生活交通の充実」に関する市民満足度の向上

### 目標達成のためのプロジェクト

プロジェクト①  
幹線・交通拠点の便利さ向上戦略  
(地域公共交通再編事業の活用)

- 事業 1-1：市内幹線軸品質向上プロジェクト
- 事業 1-2：複数交通モード連携サービス提供プロジェクト
- 事業 1-3：小規模需要対応交通運行プロジェクト
- 事業 1-4：交通ターミナル乗継機能強化プロジェクト

プロジェクト②  
多様な主体と連携した「育てる公共交通」構築戦略

- 事業 2-1：「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト
- 事業 2-2：「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト
- 事業 2-3：公共交通「みんなでかいいぜん」プロジェクト

プロジェクト③  
「迷わず乗れる」情報提供戦略

- 事業 3-1：「情報ツール」利用拡大プロジェクト
- 事業 3-2：「幹線軸」認知度向上プロジェクト
- 事業 3-3：公共交通サービス情報発信プロジェクト

プロジェクト④  
「快適に乗れる」環境改善戦略

- 事業 4-1：路線バス運賃体系再構築プロジェクト
- 事業 4-2：バス待合環境改善プロジェクト
- 事業 4-3：低床車両等導入プロジェクト
- 事業 4-4：運賃支払い円滑化プロジェクト
- 事業 4-5：公共交通における人材確保支援プロジェクト

# 目標達成のための事業のイメージとスケジュール

## プロジェクト① 幹線・交通拠点の便利さ向上戦略（地域公共交通再編事業の活用）

### 事業 1-1 市内幹線軸品質向上プロジェクト

○市内幹線軸で実施してきた等間隔運行・共同運行の高頻度サービスを継続して提供していくため、事業性を確保するとともに、途中バス停でも周知を徹底し、一層の利用促進を図ります。

- ①S・A系統の再編・等間隔運行・幹線軸の設定
- ②幹線軸の持続性向上のための基幹バス導入の検討
- ③ニュータウン方面における育てる幹線軸の検討
- ④等間隔運行・共同運行を継続して提供していくための支援策の検討

▲市内幹線軸品質向上プロジェクトの実施内容イメージ



▲幹線軸の持続性向上のための基幹バス導入の検討



### 事業 1-2 複数交通モード連携サービス提供プロジェクト

○観光目的の来訪者の移動利便性を向上させるため、鉄道・路線バス・タクシー等、複数の交通モードの連携により、利用者目線に合わせた公共交通サービスを提供します。



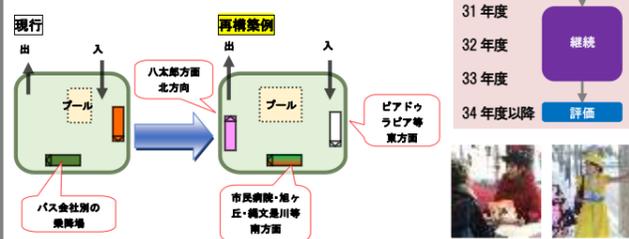
▲二次交通商品紹介冊子「わくわくバスパック」

8つの「日帰り路線バスパック」のほか、ワンコインバスや1日乗車券など、お得で便利な二次交通商品をまとめて掲載した冊子。



### 事業 1-4 交通ターミナル乗継機能強化プロジェクト

○主要な交通拠点である八戸駅・本八戸駅・鮫駅・中心街バスターミナル・旭ヶ丘営業所において、乗継案内サインの整備や待合環境の改善、人による乗継案内やおもてなしの提供を行い、ターミナル機能の強化を図ります。バス乗り場は方面別乗り場への改善を進めます。



▲本八戸駅北口広場空間の再構築イメージ



▲駅やバスターミナルでのアテンダント

### 事業 1-3 小規模需要対応交通運行プロジェクト

○八戸駅・中心街間で運行しているシタクンを支援するとともに、バスを走らせるほどの需要が低い地域や時間帯において、交通需要に対応した交通サービスの導入を検討します。



▲深夜乗合タクシー「シタクン」の更なる利用促進

- 1) 定時定路線型乗合タクシー運行事業の検討（バスの代替路線及び新規路線）
- 2) 距離帯別定額タクシー運行事業の検討
- 3) 幹線バス接続最終乗合タクシー運行事業の検討
- 4) 健康高齢者・免許返納者の外出支援、子育て支援などの近距離限定タクシー運行事業の検討
- 5) 観光地巡り定額タクシー運行事業の検討

▲タクシーによる小規模需要交通への対応策の検討



## プロジェクト② 多様な主体と連携した「育てる公共交通」構築戦略

### 事業 2-1 「育てる公共交通」(協働交通)構築プロジェクト

○主に市単独補助路線など持続的な運行が難しくなっている路線を対象に、沿線住民や沿線企業など多様な主体の積極的な参画により、「地域の生活に使える」公共交通サービスに育てていきます。



▲「育てる公共交通」(協働交通)のイメージ



### 事業 2-2 「育てる公共交通」実践・普及プロジェクト

○転入者、小中学生、企業社員、地域住民など対象者を絞って取り組んできた利用促進策を引き続き実践していくとともに、継続的に実施できるシステムの構築を目指します。

○沿線の観光施設等と連携した企画乗車券を開発し、生活以外の利用の掘り起こしを進めます。



▲バス乗り方教室の実施 ▲バスパックの商品・開発



### 事業 2-3 公共交通「みんなでかいてん」プロジェクト

○公共交通を「気持ちよく使え」、「また利用したい」と思ってもらえるよう、利用者の苦情や意見を公共交通の改善に反映させる仕組みの導入や乗務員等の接客マナーの向上を進めます。



▲「みんなでかいてん会議」の開催



▲公共交通利用促進ウェブサイト「みんなでかいてん意見箱」 ▲乗務員接客サービス向上研修の実施状況



## プロジェクト③ 「迷わず乗れる」情報提供戦略

### 事業 3-1 「情報ツール」利用拡大プロジェクト

○観光客や日常利用者の利便性向上、転入時や高校進学時に合わせた利用促進、未利用者への利用促進など、モビリティマネジメントの一環として作成したバスマップや対象者向け動機付けルールなどの「使える情報提供ツール」については、交通拠点や公共施設等で配布するなどの情報戦略を展開します。各種情報ツールの存在・興味を抱くよう情報を発信します。



▲バスマップはちのへ



▲転入者・高校進学者向けに情報提供ツールを配布



### 事業 3-2 「幹線軸」認知度向上プロジェクト

○市内幹線軸での「等間隔運行・共同運行サービス」、「最終幹線接続深夜乗合交通サービス」を始め、「わかりやすく支払いやすい運賃体系」、「路線毎に使えるサービス」など、市民や来訪者にとって便利になった交通サービスが、途中バス停留所・待合施設・車両等の関連設備を見ればすぐに認識できるような情報戦略を検討します。



▲等間隔運行・共同運行の周知継続

- ・中心街バスターミナルや幹線軸停留所、車両等、今後の都市構造の骨格となる幹線軸をトータルデザインし、訴求力のある周知の徹底に努めます。
- ・幹線軸停留所における路線図や時刻表などの掲示・配布の可能性について検討します。

▲トータルデザインによる周知の検討



### 事業 3-3 公共交通サービス情報発信プロジェクト

○目的地まで公共交通で移動が可能か調べようとした場合、鉄道に関してはホームページでの情報提供が充実している一方で、路線バスや公共交通の総合的な利用に関する情報についてはこれまでなかなか提供されておらず、実際の利用に繋がりがづらい状況にありました。そのため、八戸市の公共交通に関するポータルサイトや広報誌などを最大限活用し、公共交通サービスの情報を発信していきます。



▲ホームページを活用した情報提供



▲広報誌を活用した周知・PR



## プロジェクト④ 「快適に乗れる」環境改善戦略

### 事業 4-1 路線バス運賃体系再構築プロジェクト

○「路線バス上限運賃政策」については、「わかりやすさ」、「支払いやすさ」を維持しつつ、適正かつ経営的にも持続可能な運賃体系の再構築に向けた検討を行います。

分類	施策	概要
近距離運賃区間の値上げ激変緩和措置	まちバスの継続の検討	一定の収入を確保しつつ、近距離運賃区間の激変緩和措置の継続実施について検討する。
通学利用者の利用促進策	通学定期券へのプラス機能付加の検討	通学定期券持参で、土曜・日祝日に定期券表示区間以外が1乗車100円になるプラス機能の付加を検討する。 前掲として、通学定期券の経由地等の販売方法の適正化を図る。
買い物や休日のお出かけ利用促進策	みんなで乗れる1日乗車券(土日祝限定)の検討	値上げにより利用減の恐れのある買い物利用の救済措置として、土日祝限定で複数人数で同乗できる1日乗車券の導入を検討する。

▲新運賃制度の検討(イメージ)



### 事業 4-2 バス待合環境改善プロジェクト

○「市内幹線軸」を中心にバス停への必要情報の掲示の徹底、待合スペースの確保や接近情報の提供、風防などの設置検討を行い、誰でも使いやすい待合環境に改善します。



▲八戸市交通部の待合環境整備(「BUS NAVI8」)

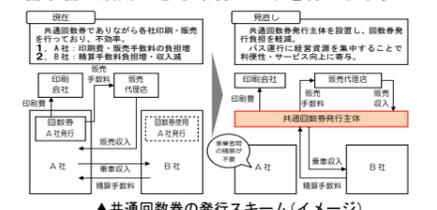


▲中心街ターミナル停留所における運行経路・運賃表示



### 事業 4-4 運賃支払い円滑化プロジェクト

○運賃体系の見直しに合わせて、スムーズな運賃支払いが可能で、運賃収受の管理がしやすいシステムの導入を検討します。また、公共交通の利用実態が把握できるデータ収集が可能な仕組みを検討し、公共交通の経営改善に活用できる環境づくりを行います。



▲共通回数券の発行スキーム(イメージ)



### 事業 4-3 低床車両等導入プロジェクト

○誰でも安心して公共交通で移動できる車両の導入支援策を検討します。



▲低床バス(ワンステップバス・ノンステップバス)の順次導入 ▲UD(ユニバーサルデザイン)タクシー



### 事業 4-5 公共交通における人材確保支援プロジェクト

○バス事業者のバス運転者確保を支援し、バス路線及びバス運行回数の維持・確保を図ります。

